

事業番号	080
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	勤労者福祉事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係							
	総合計画分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		4 雇用対策・勤労者福祉を充実する									
		副目的														
	予算区分	款	5		項	1		目	1		大	2		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市中小企業退職金共済制度促進助成規則、小牧市労働団体等事業費補助金交付要綱、小牧市事業主・従業員等高度健康診断補助金交付要綱														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	勤労者の福利厚生を充実と向上を図る。														
	内容 (手段)	<p>【平成24年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業退職金共済制度助成金 市内に事業所を有する中小企業者を対象に、中小企業退職金共済制度の掛金の一部を助成し、この制度への加入を促進することにより、市内中小企業の育成と従業員の福祉の増進を図った。5,688千円</li> <li>・事業主・従業員等高度健康診断補助金 小牧商工会議所が実施する満40歳以上の市内事業者の事業主、従業員等の高度健康診断(人間ドック)に対し補助をした。2,400千円</li> <li>・労働関係講習会の実施 愛知県尾張事務所と共催で労働関係講習会を実施した。平成24年度は11月6日に「労働関係をめぐる環境の変化」等の講座を行い、52名の参加があった。</li> <li>・労働団体等事業費補助金 勤労者の健全な育成並びに福利厚生及び文化経済の向上を図ることを目的に、地域労働団体に補助した。1,100千円</li> </ul> <p>【24年度その他直接経費の内訳】 講師謝礼(20千円)、消耗品費(14千円)</p> <p>【25年度直接経費の内訳】 講師謝礼(20千円)、普通旅費(6千円)、消耗品費(14千円)、中小企業退職金共済制度助成金(5,000千円)、事業主・従業員等高度健康診断補助金(2,400千円)、労働団体等事業費補助金(1,100千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	12,340	7,853	9,222	8,540	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.06	0.10	0.10
			人件費	千円	533	319	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.10	0.00	0.00
			人件費	千円	0	151	0	0
		費用合計	千円	12,873	8,323	9,755	9,073	
	対前年比	%			64.6	117.2	93.0	
財源	一般財源	千円	12,873	8,323	9,755	9,073		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	中小企業退職金共済制度助成	件	目標	-	-	-
実績				125	138	146	
労働関係講習会回数		回	目標	-	1	1	1
			実績	-	1	1	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	中小企業退職金共済制度助成	件	目標	-	-	-	-
実績			125	138	146		
労働関係講習会参加人数	人	目標	-	60	60	60	
		実績	-	53	52		

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業退職金共済制度助成金は平成24年度までに適格退職年金制度の移行が必要だったこともあり助成件数が増加している。</li> <li>労働関係講習会については61名の参加申込みがあったが9名の欠席があり52名の参加者となった。</li> </ul>		
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業の事業者が加入者となる制度であるが、知名度があまり高くないため、加入条件を満たす中小企業でも退職金共済制度に加入しておらず退職金のない中小企業がある。</li> </ul>		
	事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業退職金共済制度助成事業を廃止すると、同共済制度加入への影響が少なからずあると思われるため勤労者福祉への低下が懸念される。</li> </ul>		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働関係講習会、中小企業退職金共済制度への加入について、多くの方に利用いただけるようPR活動を行う。</li> </ul>	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業退職金共済制度助成事業は中小企業に勤務する勤労者の退職金を確保するために必要な助成制度であると考えます。</li> <li>労働関係講習会についても企業の担当者に労働に関する法的知識を習得していただく機会を設けるためには必要と考えます。</li> </ul>	
26年度以降の改善案		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き労働関係講習会への参加、及び中小企業退職金共済制度への加入について、多くの方に利用いただけるようPR方法等を検討する。</li> </ul>		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。